

上高津貝塚ふるさと歴史の広場テーマ展 土浦の遺跡22

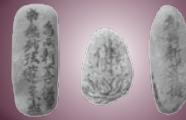


# 平成27年度遺跡調査の成果

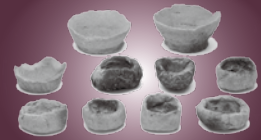
## —土の中にこめられた祈りと思い—

3月22日(水)～5月7日(日)

上高津貝塚ふるさと歴史の広場は、国指定史跡上高津貝塚の保存と博物館活動以外に、市内の埋蔵文化財調査センターとしても活動しています。今回の展示では、昨年度に発掘調査や整理作業などを行った4つの遺跡の調査結果を紹介します。



▲浅間台一字一石経塚 経石



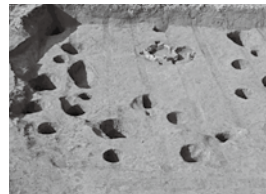
▲初買場遺跡 手づくね土器▲

### せんげんだい 浅間台一字一石経塚(木田余)



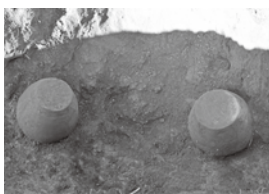
急傾斜地を保護するための工事現場から、江戸時代に法華経を石に書いて埋めた経塚が発見されました。経塚としての発見は、県内で2例目となります。

### 神立遺跡(神立町)



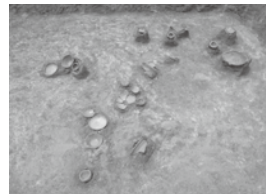
店舗建設に伴う調査で縄文時代中期のむらの跡と中世室町時代の地下室の跡が見つかりました。地下室からは中国製の陶磁器の破片が出土しました。

### 宮西 A 遺跡(沖宿町)



道路整備の工事現場から、奈良時代から平安時代のむらの跡が見つかりました。住居跡から煮炊きや暖を取るのに使った「カマド」が出土しました。

### もみかいば 初買場遺跡(木田余東台二丁目)



アパート建設に伴う調査で古墳時代後期の住居の跡が見つかりました。新しい家に移る際にモモや土器を使ってまつりの儀式を行っていたようです。

### 🍷 調査発表会

📅 4月29日(土) 午後2時～3時

📍 考古資料館体験学習室

🗣️ 考古資料館学芸員

👤 定60人(先着順)

※入館料が必要です。

### 🍷 展示解説会

📅 4月2日(日)、5月6日(土) 午後2時～2時30分

📍 考古資料館特別展示室

🗣️ 考古資料館学芸員

※入館料が必要です。

### 🍷 植物観察会

📅 4月2日(日)、5月6日(土) 午後2時30分～3時

📍 広場(集合/資料館入口)

🗣️ 考古資料館学芸員

### 🍷 展示の見どころ 🍷



上高津貝塚ふるさと歴史の広場 比毛学芸員

埋蔵文化財センターとしての主な活動は、地中に埋まっている遺跡の調査です。遺跡はそのままの形で保存するのが原則ですが、工事などでやむを得ず壊さなければならない時に発掘調査を行います。

遺跡は昔の人々がどのように暮らしていたのかを知るための貴重な手がかりで、今回の展示では、その成果の一部をご紹介します。一つ一つの石に宿る文字を書いた人の「祈り」、まつりの儀式に託した「思い」など、遺跡として残った昔の人々の生きた証をご覧ください。

上高津貝塚ふるさと歴史の広場(考古資料館) 上高津1843 ☎826-7111

休館日/毎週月曜日(3月20日を除く)、3月21日(火)

開館時間/午前9時～午後4時30分

入館料/一般・・・105円、小・中学生、高校生・・・50円(20人以上の団体は一般・・・75円、小・中学生、高校生・・・30円)

◎毎週土曜日は、小・中学生、高校生は入館無料

土浦市立博物館第38回特別展

土浦八景—よみがえる情景へのまなざし

3月18日(土)～5月7日(日)

江戸時代、日本の各地では八つの美しい風景を選んで漢詩や和歌を詠み、絵に描きました。土浦でも江戸時代後期に、銭亀夕照・下田落雁・神龍寺暁鐘・桜橋晴嵐・川口帰帆・霞浦秋月・鷺宮夜雨・北門暮雪からなる「土浦八景」が選ばれ、沼尻墨僊や内田野帆らが和歌や俳句を詠んでいます。最近では、もっと古い別の八景があることもわかってきました。藩主土屋篤直が選定した「垂松亭八景」です。

この展覧会では、中国から伝わった八景という文化の広がりやをたどるとともに、土浦のふたつの八景をくわしくご紹介します。自分たちが暮らす地域の風景を愛し、その価値を発見していった先人たちの「まなざし」に迫ります。

■展示構成■

- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| I 八景の受容と展開     | IV 八景をめぐる文化的背景              |
| II 大名が選んだ土浦の八景 | V 霞ヶ浦周辺の八景                  |
| III 土浦八景の展開    | VI 八景という水脈<br>—受け継がれる〈まなざし〉 |



▲草久さ集(個人所蔵・当館寄託)



▲垂松亭八景詩巻「銭亀橋夕照」(当館所蔵)



▲垂松亭八景詩巻「高津晴嵐」(当館所蔵)

■記念講演会

「瀟湘八景から日本の八景へ」

日 4月15日(土) 午後1時30分～3時

講 堀川貴司さん

(慶應義塾大学ス道文庫)

■土浦城ウォッチング

「土浦八景ゆかりの人々」

土浦八景ゆかりの地を歩いてたどります。

日 4月8日(土) 午前9時～正午

※小雨決行

講 土浦市観光ボランティアガイド、博物館学芸員

定 35人(先着順)

料 ¥100円(資料代)

申 3月10日(金)から電話または直接

■連携講座

「八景にみる霞ヶ浦と常総地域」

日 4月23日(日) 午後1時～4時

「正定山八景と江戸崎」

講 平田満男さん

(稲敷市郷土資料調査員)

「鹿島八景と「浪逆湖泛遊図巻」」

講 梶山孝夫さん

(元清真学園高等学校)

「垂松亭八景の成立」

講 博物館学芸員

「土浦八景の展開」

講 博物館学芸員

◎講演会・講座共通事項

場 博物館視聴覚ホール

定 70人(先着順)

■展示解説会「八景をめぐる旅」

日 3月26日(日)、4月9日(日)、5月3日(水) 午後2時～3時

講 博物館学芸員

※入館料が必要です。

■関連企画

「写真でみる土浦八景の今昔」

「みんなで選ぼう、後世に残したい土浦の風景」

(協力:土浦市文化財愛護の会写真部会)

「小学生が選んだ〈まちの風景〉」

(協力:土浦市内の小学5年生の皆さん)

■展示の見どころ■



市立博物館  
堀部学芸員

「土浦八景」をみていくと、江戸時代の人々が、自分たちの住んでいる土浦の風景を愛し、良く観察していたことが分かります。近年見つかった「垂松亭八景」も含め、江戸時代の土浦の人々が土浦のどこに魅力を感じていたのか。展示を通して、江戸時代の人々が持っていた「自分たちの暮らすまち」に対する〈まなざし〉を感じてください。

土浦市立博物館 中央一丁目15-18 ☎824-2928

休館日/毎週月曜日(3月20日を除く)、3月21日(火)、3月14日(火)～17日(金)は展示作業のため休館

開館時間/午前9時～午後4時30分 無料開館日/4月2日(日)桜まつり協賛

入館料/一般…105円、小・中学生、高校生…50円(20人以上の団体は一般…75円、小・中学生、高校生…30円)

◎毎週土曜日は、小・中学生、高校生は入館無料